平成２４年１月２５日

避難訓練（火災）実施計画

日奈久小学校　安全担当

１　目的

児童…○火災等の災害避難に際し、生命・身体の安全を守るために必要な知識・技能・態度を身につけさせ、安全な避難ができるようにする。

　　　○火災について原因や怖さを知らせることにより、防火の意識を高める。

職員…○避難誘導・通報の訓練を行うことにより、火災などの緊急時における職員の対処の仕方を知る。

２　日時　　平成２４年２月１日（水）　業間　（１０：２０～１０：４０）

　※雨天時は２月３日（金）

３　対象者　　日奈久小学校全児童及び全職員

４　児童への指導と職員の対応について

（１）事前指導　（学級活動の時間等）

　　○しっかりと放送を聞く。（日頃から放送時には静かに聞く習慣を）

　　　いつ、どこで、なにが起こったのか、どうしなければいけないのか

　　○避難経路・集合場所の確認。（別紙参照）…火元を避け、一番近い出入り口から避難

　　○避難時に気をつけること。

1. あわてず、騒がず、先生の指示に従う。
2. 教室の窓を閉め、カーテンは開け、電気は消す。
3. 廊下や階段では、決して走らない。（二次災害につながる）
4. 運動場に出たら、走って避難する。
5. 煙を吸い込まないように注意する。（ハンカチで口を押さえる）
6. 避難は、低学年が優先。

　　○避難時の合い言葉…お、は、し、も

　　　「押さない、屋内：走らない（屋外：走る）、喋らない、戻らない」

（２）職員の対応等について

火災を発見　→　近くの児童に避難の指示

↓

インターホン・火災報知器で火災発生を知らせる

初期消火できそうな場合　　　　　　　初期消火できそうにない場合

↓　　　　　　　　　　　　　　　　　　↓

　　　　　初期消火（発見者、橋本、）　　学級または避難場所へ向かう

↓

連絡を受けた先生は学校長または教頭へ連絡

その後、消火器を持って応援に行く

５　実施方法

* 想定　（授業時間）、（家庭科室）から火災発生
1. 非常ベルを鳴らす。《寺田》　児童避難の緊急放送を行う。《教頭》（１０：２０）

緊急連絡をします。訓練火災です。ただ今家庭科室より火災が発生しました。教室棟に広がるおそれがあります。直ちに緊急避難を行います。児童の皆さんは、先生の指示に従い、落ち着いて運動場中央に避難して下さい。繰り返します。（２回）

※学校長は避難場所へ移動

（２）校内放送と同時に、下記の要領で消防署（１１９）へ通報する。《寺田》

・訓練火災です。

・住　　所：八代市日奈久竹ノ内町４２７７－１

・出火場所：日奈久小学校の家庭科室から出火しています。

・児童は避難中です。

・通報者：通報者は日奈久小学校の（寺田）です。電話は３８－００４４です。

（３）キューネットから確認の電話を受ける。《寺田》

（４）担任の誘導で避難を開始する。《各学級担任》　※担任は出席簿を持って行く

①放送内容を確認し、避難の指示を出す。　　　　　　　　　　（人命優先）

○窓を閉めて照明を消す。

○ハンカチ等で口を押さえる。

○避難経路：どこを通るか

○避難場所：小学校運動場中央

○「お、は、し、も」の確認

②並ばせて避難開始（担任は一番最後から）

【避難経路】※今回は家庭科室出火を想定しているので

　●１階教室　→　ベランダから

　●２階教室　→　２回昇降口または非常階段から

　●３階教室　→　階段を下りて１階昇降口または非常階段から

　●音楽室　　→　西側非常階段から

●理科室、図書室、パソコン室→　階段を下りて職員玄関から小運動場を通って

③教室やトイレに残っている児童がいないか確認をする。

管理棟１階、２階、３階（教頭）

教室棟１階（木村）、２階（一門）、３階（村上）　　体育館（寺田）

* 保健室で休んでいる児童は、黒田先生と移動する。古川先生には補助をお願いする。（黒田先生は救急箱の準備）

**【避難場所】**

・集合場所は運動場中央。中学校校舎を向いて学年毎２列で整列。北が１年、南が６年。

鉄棒

６年　５年　４年　３年　２年　１年

プール

（５）避難の終了したクラスから、人数を確認し、学級担任は学校長に報告。

　　　○確認・報告の済んだクラスは、腰を下ろして静かに待つ。

1. 水消火器での消火訓練　　　　　《進行：舩ケ山》

○プールの方を向いて、担当が実演をする。

○４・５・６年生から一人ずつ代表を選び、炎の絵に向けて消火する。

1. 校長先生のお話。（３分）
2. 終了　（１０：４０）

※上靴をよく洗ってから教室に入る。

６　その他

　・事前の学級指導の中で、訓練をする目的や方法等については、十分話をしておく。

　・訓練だからといって、決してふざけない。

　・緊急時の行動において配慮をようする児童については、対応について検討しておく。

　・日頃からの指示として、次のことを徹底しておく。

1. 放送が始まったら、話をやめ、静かに聞く。
2. 集合時は、話をする人の方を向き、静かに聞く。
3. 自分の命を守るために、ハンカチの携帯や上靴を履くなど、習慣化しておく。

**・消火器の使用方法について全職員に再確認をする。**

…………………………………………キリトリ線…………………………………………

避難訓練の反省（お気づきのことをお書き下さい）

名前（　　　　　　　　　　　　　　）